

朝日新聞朝刊の連載小説 「人よ、花よ、」 今村翔吾 作

2022年8月15日～連載中 北村先生が挿画を担当中。

*朝日新聞デジタルなら、連載小説「人よ、花よ、」の挿画の全てがカラーで見られます。

「朝日新聞デジタル 人よ、花よ、」で、ググるとヒットします。

今村さんの原稿を読んでから挿画を描いています。最初の3ヶ月間は、時代考証だけで時間が過ぎて行き、大変でした。さらに、今村さんは、“まつり旅”最中で、落ち着いて原稿がかけなかった時でもあり、大量の原稿が届く期待はできませんでした。“待つ”だけでなく、はたして歴史音痴の私に乗り越えられるのか手探りの日々でした。

前以て打ち合わせして描いていると思われるようですが、今村さんからは、「多聞丸をイケメンに」という注文以外はありませんでした。登場人物のキャラクターは、読み進むうちに私が勝手に創っています。

年末からは、7日分 週 届くようになった原稿。先がわからないで描くので、次に届く原稿で思い描いていた状況と違う事柄だったりする場合があります。そんな時は、掲載日に間に合うゆとりのあるときは描き直して再送しますが、時に繋がらない事柄があるのは、そういう理由からです。

1回分ずつに分けられた文を読み何を描くかを決めたら、その表現に相應しい支持体を考えます。ワトソン紙、生の画仙紙、着色した画用紙の3種類を主に使っています。紙版画やコラージュにした回もあります。

連載は今後も続きます。私自身は時代背景だけでなく冬至描かれた絵を参考にし、描く事を楽しみながら取り組んでいます。読者さん達には、物語りを楽しむためのアイテムとして視界に置いていただけたら幸せです。

2023年2月下旬 北村さゆり拝